

後藤泰洋 & 大島誠二 現代アートを語る

愛知トリエンナーレを控えた今、一宮在住の現代アーティスト後藤泰洋氏が、自ら精力的にあちこちまわって見てきた現代アートについて、同じく若いアーティストたちを応援している、ギャラリー織部亭のオーナー大島誠二さんを聞き手にお話をします。

後藤泰洋氏の作品は、そのへんにあるチラシやポスター、包み紙などでできています。一宮市美術展で、りっぱな額に入った油絵等が並ぶ中に、がさがさした包装紙の裏紙にハートが描いてあったり、カラフルな色の文字が重なり合うかたちで詩が描かれている作品があったのを覚えている人も多いのではないのでしょうか？一宮市民病院の血液内科の外来の前にある曼荼羅のような作品も後藤先生の作品です。



80歳という高齢ながらも、犬山のオルタナティブスペース、「キワマリソウ」や長者町の「エビスアートラボ」などで若い作家さんたちと一緒に現代アートを発表するなど、活発な創作活動をしていらしゃいます。中学校の美術教師を勤めた後は、岐阜の聖マリア女学院や、老人介護施設、美術同好会などで、美術を教えていました。先生のユニークな作品制作の指導により、現代アートを発表する

人たちが、年齢を問わず、一宮に増えたと思います。

注) Alternative(オルタナティブ)とは、「代わりとなる、異質な、型にはまらない」という意味の英語の形容詞

今回のいちのみや大学講座は、5月22日から6月13日までの間、織部亭にて後藤泰洋展が開催されるのにあわせて、開講します。同時に犬山キワマリソウでのグループ展「wake up!」展(2010年4月10日～5月30日)にも後藤氏は参加しています。



◆いちのみや大学講座「後藤泰洋 & 大島誠二 現代アートを語る」

- ・日時：5月30日(日)午後3:30～午後5:00(要予約)
- ・場所：織部亭 一宮市島崎一丁目11-19 (tel 0586-76-1993)
駐車場は10台ぐらいならOK
- ・会費：1000円
- ・申し込み：ホームページから 定員：30名
<http://ichinomiyadaigaku.com/r/>
インターネットをご利用でない方は、メールまたは、
電話・FAX(0586-72-5445)(平日9～17時)にてお申し込みください。
- ・申し込み締切：開催日前日まで。
キャンセルの場合も前日までをお願いします。



※お問い合わせは、
有限会社人の森気付け いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445
メール: info@ichinomiyadaigaku.com までお願いします。

いちのみや大学

検索



携帯の方は
QRコードをご利用
ください。

いちのみや大学ってどんなもの？

◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。
一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくらうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。
一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。
人口も 38 万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。
そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。
いちのみや大学はどなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

◆参加方法

- ① いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiyadaigaku.com/> からの申し込み
学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。
- ② インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合
電話/fax 0586-72-5445(平日 10 時から 17 時)
メール info@ichinomiyadaigaku.com などでも受付しています。
※受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報をご確認ください。

◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)
西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色(会場:スポ文)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場(会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)
- ・歴史学部 江戸時代の一宮の村社会(会場:スポ文)
のこぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策(会場:葛利毛織)
妙興寺を体感する(会場:妙興寺)

◆これからの講座

- ・歴史学部 2010/5/15(土)pm13:30～ 美濃路・起宿と湊屋(会場:湊屋)
5/30(日)pm15:30～ 後藤泰洋&大島誠二 現代アートを語る(会場:織部亭)

◆いちのみや大学のちらしを置かせてもらっている所

織部亭、野の花、さかな、市役所、木曾川庁舎、尾西庁舎、ちゃらん家(本町)、市民活動支援センター等



「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局(有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4 アートメゾン 103 号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiyadaigaku.com